

都民等との協働による動物との共生推進拠点の整備検討会 第2回 2022/11/1

## 「身近な交流拠点となるために一都市デザインの観点から」

早稲田大学 佐々木葉

公共施設が親しまれる = 利用される = 認知される = 永く愛される  
ための条件

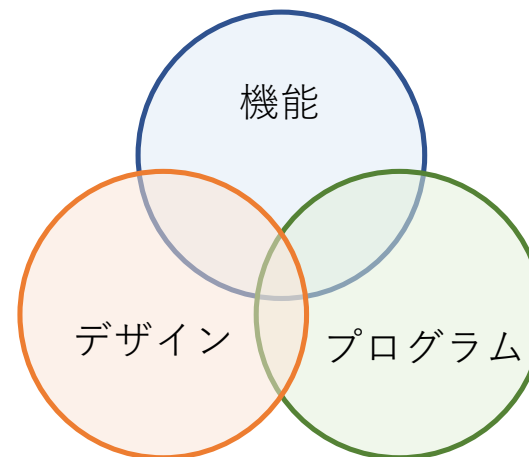
### 1. 立地

アクセス： 公共交通 + 徒歩  
ついでに立ち寄る  
歩く道が快適



敷地条件： 広さ・地形  
道との関係  
隣地との関係

### 2. 機能とデザインとプログラム



# 望ましい施設を作るためのプロセス

## 敷地選定

- 可能性ある候補地リストアップ
- 早い段階での専門家による議論
  - ✓ 動物愛護
  - ✓ 都市デザイン
  - ✓ 施設運営
- 施設ができたあとの周辺地域を含めたまちのイメージ図のドローイング
- 周辺地域との対話
- 地域まちづくりの一環として

## 施設設計

- デザインコンペ/プロポーザルによる選定
- **メリット・意義**
- 公募条件を決める際に何を重視するかを真剣に議論する
- プロセスが公開される（公正性・情報発信）
- コンペのやり方によっては住民意見の参照/事業経営の形（PPP・PFI）なども組み込める

参考：[morineki](#)(大阪府大東市 市営住宅再生プロジェクト) [R4都市景観大賞受賞](#)